

○三八上北森林管理署の「令和3年度採材検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材現地検討会等に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。

令和3年7月29日(木)に青森県東北町の清水目深山国有林で開催された「令和3年度三八上北森林管理署採材検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

前日に台風8号が通り過ぎ、悪天候も予想されましたが、当日は汗がしたたり落ちるほどの好天に恵まれ、林業関係団体や県、市町村担当者、署管内の林業事業者など50名を超える参加者のなか開催されました。

会場はスギ間伐箇所で開催され、今回の採材検討会ではスギ及び広葉樹の採材について検討を行いました。

署長挨拶後、青森事務所からは、最近の木材の需要動向や販売状況について説明し、4m採材を基本とした採材をするよう指導させて頂きました。

続いて署担当者より採材の考え方や留意点、丸太の生産実績等について資料をもとに説明があり、事前に試供木として準備して頂いた8本のスギ丸太について一般材か合板材かの判断をそれぞれの丸太にある欠点の程度を確認しながら検討を行いました。また広葉樹3本、ミズナラ1本とホオノキ2本について、青森県森林組合連合会の担当者からその用途と採材に際して留意すべき欠点等を説明頂くなど、採材についての意見交換が行われました。

その後、配布資料をもとに署担当者から森林作業道作設指針の説明やGPS、GIS等の活用、地形データを使って林道や作業道などの自動設計ができるソフトウェアである「FRD」の紹介があり、場所を移動して、簡易な路盤補強工法である「グランドセル路盤補強工法」の紹介が行われ、終了となりました。

青森事務所では今後も採材検討会に積極的に参加し、国有林材の有効な利用に貢献して参りたいと考えています。



需要動向説明



広葉樹採材検討